



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)



丁寧な説明と議論を！総合運動防災公園事業

問 名称に防災がついた理由は。

答 防衛省の補助金の活用も検討し、地域の防災拠点としても整備を進める方針です。

問 市内の防災機能施設の考え方は。南北が分断された場合、北部の防災拠点の必要性は。

答 (市長) 加西市の面積は南北に分けるほどではなく、一、二か所確保できればと考えます。

令和 6 年度監査委員意見書から

問 各施設ごとの事業費は。また、いつ明示されるのか。

答 事業費約 94 億円の内訳は、陸上競技場 26 億円、多目的グラウンド 12 億 2,000 万円、総合体育館 53 億 8,000 万円、駐車場 1 億 7,000 万円です。現在の計画段階での明示は考えていませんが、今後示していく予定です。

問 陸上競技場及び体育館の事業費は、観客席の規模に大きく左右される。基本計画の観客席数の根拠は。

答 陸上競技場は観覧席 500、周辺に 1,000、全体で 1,500 席程度を確保します。総合体育館は他市の類似施設を参考に、2 階に固定席 1,500、大会の開催の際に仮設席 1,500 程度を追加できるメインアリーナを整備し、全体で 3,000 席程度を確保する予定です。

問 プロ競技を含む大会等の誘致を前提として多くの観客

席を設ける必要があるなら、誘致を想定する大会規模や年間利用回数などを具体的に示し、妥当性について十分議論すべきでは。

答 地区大会以上の規模の大会を年 10 回程度実施するほか、プロスポーツチームの試合や地域住民参加のイベント、スポーツ教室等を開催することにより、年間利用回数をさらに向上させることが望ましいと考えます。

問 総合運動防災公園の整備については、事業を急ぐあまり対応が後手に回っていること、そして議論が不十分だということが問題である。十分に議論されないまま整備が進むことは危険と思うが、どうお考えか。

答 今後、具体的な設計に入る段階で、さらに皆様とよく相談しながら、丁寧に進めていきたいと考えます。



土本 昌幸 議員
(公明党)



安全・安心のまちづくり (防災力向上)

問 防災訓練の必要性について 2 点お聞きします。

1 点目は、大規模訓練の必要性についてです。大災害が発生した場合は、消防や警察、自衛隊、行政等の連携した対応や、近隣市への支援が想定されるため、定期的な訓練が必要ではないかと考えます。計画を含めて答弁を求めます。

また、建設中の附属棟が完成すれば防災センターとしての新たな取組も考えられます。防災力の向上は重要なテーマですので、答弁を求めます。

答 災害支援で中枢を担う消防、警察、自衛隊との連携は非常に大切であると認識しています。本年 10 月 4 日に鶴野飛行場跡において北播磨地域合同防災訓練を実施し、消防及び警察、自衛隊による道路啓開訓練や救護訓練などを予定しています。また、地元住民の参加も予定しており、防災意識の向上に努めます。

今後の展開としては、附属棟新築に伴う、災害対策本部での図上訓練を検討しています。

問 2 点目は、校区や地区単位の訓練についてです。規模が小さければ地域特有の問題が明確になり、その点について、地域の皆さんの理解から対応策も考えられます。以前は小学校単位での訓練もありましたが、自治会単位

の訓練も必要ではないかと考えますので、答弁を求めます。

答 校区単位の訓練としては、社会福祉協議会と連携して、校区はつらつ委員会の研修のテーマとして防災に取り組んでいただき、要支援者の救助に関する図上訓練等に取り組んでいます。

また、自治会単位においても、加西ライフナビを利用して、災害対策本部と区長との連絡を想定した安否確認訓練にも取り組んでいます。

■その他の質問事項

- ・ 病院関係
- ・ DX 支援について
- ・ 公共交通関連
- ・ 不登校について